

表-1 魏志倭人伝に記載の人名・官名（本論引用名のみ）とその比定

人名・官名	上古音(上段) / 中古音(下段) (注)	推定音 (参考)	比定	備考
爾支	nier-kieg nië(rië)-tjië	にき	日向三代の 名を継承	
泄謨觚	siat-mô-kuag siët-mô-ko	しもこ〜ひぼこ		
卑彌弓呼(素)	pieg-miër-kiuŋ-hag (-sag ) pië-mië-kiuŋ-ho (-so )	びみくほ(そ)	天津甕星	天香香背男の亦名
狗古智卑狗	kug-kag-tieg-pieg-kug kəu-ko-tië-pië-kəu	くこちえひく	天香香背男	
卑彌呼	pieg-miër-hag pië-mië-ho	びみほ	宇那比姫命 (注2)	彦火明命六世孫
壹(臺)與	·iët-ŋiag (ŋio) (dag-ŋiag (ŋio)) ·iët-yio (dai-yio)	いよ (でいよ)	大倭姫命 (注2)	彦火明命八世孫
難升米	nan-thiəŋ-mer nan (ndan)-ŋiəŋ-me(i)	なしえめ	梨迹臣命 (注2)	中臣氏の祖
都市牛利	tag-dhiəŋ-ŋ iog-lied to-ziəi-ŋ iəu-lii	とぢぐり	出石心大臣命 (注3)	彦火明命三世孫 麿色雄命の祖父
			又は 由基理命 (注2)(注3)	宇那比姫命の甥 大倭姫命の父
伊聲耆掖邪狗	·iər-thiəŋ-gier (dhier) -diak-ŋ iäg-kug ·i i- ŋiəŋ-gii (zi) -yiək- yä	いしえじ いきやく	伊世理命 (注2)(注4)	梨迹臣命の弟
載斯烏越	tsəg-sieg-·ag- ŋiuät tsai-sië-·o- ŋiuät	つえしくおえ	麿色雄命 (注5)	宇摩志麻治命の四世孫 孝元后(麿色謎命)の兄

表-2 孝昭〜孝元の御代の伝承を持つ東国古社（三関【鈴鹿，不破，愛発】以東）(注1)

	孝昭	孝安	孝霊	孝元
式内社	伊豆山神社(伊豆) 氷川神社(武蔵) 楡山神社(武蔵)	三嶋大社(伊豆) 伊古奈比咩命神社(伊豆) 穴澤天神社(武蔵) 鼻節神社(陸奥)	富士山本宮浅間神社(駿河) 桃澤神社(駿河) 劔神社(越前)	気多大社(能登) 能登生国玉比古神社(能登) 武水別神社(信濃) 阿智神社(信濃)
諸社	村山浅間神社(駿河) 富知六所浅間神社(駿河) 箱根神社(相模) 簸川神社(武蔵) 鳥見神社[萩原](下総)	富賀神社(伊豆)	天津日神社(美濃)	戸隠神社(信濃) 春日神社[増泉](加賀)

(注1) 「式内社調査報告」, 「全国神社名鑑」, 「全国神社祭祀祭礼総合調査」(平成7年) [神社本庁], 他による。

表-3 歴代各天皇（神武～応神）の在位年数及び即位年の推定

	漢風諡号	日本書紀		四倍暦の場合の 換算年数	四倍暦に基づく 補正即位年(西暦)	備考
		在位年数	元年			
初代	神武	東遷7年間	甲寅	1.75年	156年(東遷開始)	倭國大亂 桓靈治世 (146~189) 靈帝光和年間 (178~184) 卑彌呼 男王 壹與
		76年(空位3年)	辛酉	19年(0.75年)	157年(即位年)	
2	綏靖	33年	庚辰	8.25年	177年	
3	安寧	38年	癸丑	9.5年	185年	
4	懿徳	34年(空位1年)	辛卯	8.5年(0.25年)	195年	
5	孝昭	83年	丙寅	20.75年	204年	
6	孝安	102年	己丑	25.5年	224年	
7	孝靈	76年	辛未	19年	250年	
8	孝元	57年	丁亥	14.25年	269年	
9	開化	60年	甲申	15年	283年	
10	崇神	68年	甲申	17年	298年	
11	垂仁	99年	壬辰	24.75年	315年	
12	景行	60年	辛未	15年	340年	
13	成務	60年(空位1年)	辛未	15年(0.25年)	355年	
14	仲哀	9年	壬申	2.25年	370年	
—	神功	69年	辛巳	17.25年	372年	
15	応神	41年	庚寅	10.25年	390年 = 基準(注1)	

(注1) 応神紀と三国史記(百濟本紀)の干支に三回の合致が認められることによる(宝賀寿男「神武東征」の原像)

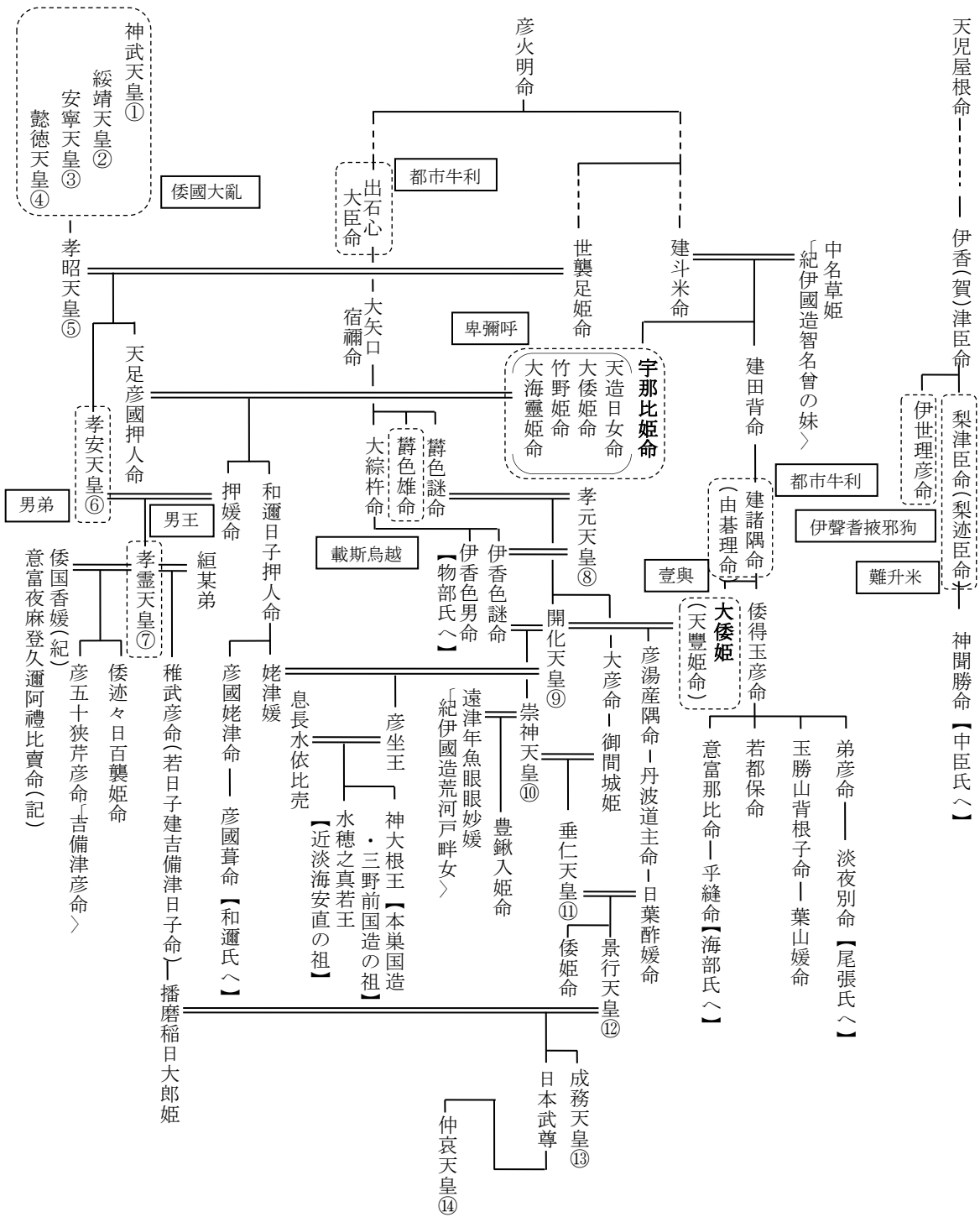
表-4 缺史八代の諡号についての解釈

漢風諡号	解釈(注1)	和風諡号(注2) (日本書紀)	解釈
綏靖	「やすらかに落ち着く」を意味するが、懿徳の例に鑑みて、逆に同帝の御代がそうでは無かったことを暗示。	神淳名川耳尊	「淳名川」は「瓊(玉)の川」を意味し、翡翠を産する越の糸魚川流域を指す語(注3)。「耳」は外曾祖父(陶津耳)と共通する。綏靖后は天日方奇日方命の妹である姫輪五十鈴姫命でありその外祖父は三嶋溝杭 = 陶津耳。
安寧	同上	磯城津彦玉手看尊	「玉手看」の「玉手(天子の手)」の持主は孝昭。旧事本紀には「観松彦香殖稻尊(孝昭)は磯城津彦玉手看天皇(安寧)の太子也」との記載あり。
懿徳	「すぐれた徳」を意味するが、則天武后に死を賜った李重潤(中宗の長男)が懿徳太子と追封された例から、懿徳の不幸な最期を暗示。	大日本彦相友尊	「相友」は高皇産靈神の与えた天羽々矢に射抜かれた天稚彦(味耜高彥根神の神友)を想起させるもの。懿徳の不幸を暗示。
孝昭	「昭」には「昭穆;祖先を祀る廟の順序の名。始祖廟を中央に置き、初代を左に置き昭、次代を右に置き穆という」の用例がある。孝昭が神武の創業を継ぎ、神武歿後の混乱を収めたと位置付けられることを暗示。	観松彦香殖稻尊	「観松(御真津)」は古代大和盆地に盆地湖があったことから「御・纏・津」が詰まったもの(纏の港)。孝昭の御代に纏向が大を成したことを暗示。「香殖稻」は「かえし・ね」~「還・元」。
孝安	「安」は「やすんずる」「安定させる」。国力の伸長・充実と整合。	日本足彦国押人尊	「国押人」は孝安の御代に倭王権が東国に伸長・充実したことを示す。
孝靈	「靈」は「死後に災いをもたらしそうな人につける」諡。「靈」の諡を享けた君主には、後継問題で世の中が乱れた例が多くみられる(「史記世家」「春秋左史伝」)。孝元とは父子継承ではないことを示唆。	大日本根子彦太瓊尊	「太瓊」は鬼退治に纏わる伝承(温羅伝説、楽楽福神社【伯耆】社伝、他)と相関。「太瓊」~「太玉」~結界神を示す。
孝元	「元」は「もと」「はじめ」。孝霊との皇位継承不連続を示唆。	大日本根子彦国牽尊	「国牽」は「くに・くる」~「国を牽いて来る」「国王の座が遣って来る」。「孝元は雀部臣(神八井耳命の子)に擁立され即位」との原田常治「上代日本正史」を裏付ける。
開化	後世の宣化~欽明と同様、「化」は崇神が開化の実子でないことを暗示。	稚日本根子彦大日日尊	「大日日」は「大いなる・太陽・むすひ」。「むすひ」は高皇産靈尊が瓊瓊杵尊の外祖父であることに相似する。開化が神功・応神の始祖として意識されていることを示す。

(注1) 藤堂明保, 加納喜光編「新漢和大事典」を参考にした。

(注2) 和風諡号は「所縁の土地を表す語」+「彦・耳」+「事績を表す語」から成る。

(注3) 大山元「初期天皇后妃の謎」



(注 1) 先代旧事本紀・海部氏勘注系図・和邇氏系図（太田亮「姓氏家系大辭典」）・記紀を基に作成。  
 (注 2) 宇那比姫命は「押媛」の母（和邇氏系図—太田亮「姓氏家系大辭典」）であり且つ「大海靈姫命」の亦名を持つ。娘を持つ女性が「みこ」の亦名を持っていたことになるが「神に仕える身である古代の巫女は処女・生涯独身」という通念は現代人の思い込み。倭人伝の記述「年已長大無夫婿」については「夫婿は已に亡くなり独り身である」と解釈するのが正しい。

図-1 卑彌呼（宇那比姫命）・壹與（大倭姫・天豊姫命）関連系図  
 （卑彌呼・壹與の比定は桂川光和HP「日本建国史」による）

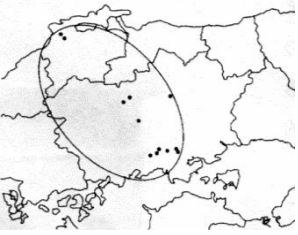
分類	代表遺跡		賀茂族との関連
前期（立坂型） 	吉備	(備中) 楯築墳丘墓 [賀夜郡] 立坂墳丘墓 [下道郡] 黒宮大塚墳丘墓 [下道郡] (美作) 中山遺跡 [真島郡] (*1)	(*1) [地祇系] 真島郡には神代からの宮所とされ味耜高日子根神を祀る御鴨神社(三代実録記載社) がある。 (*2) [地祇系] 西谷墳墓群の在る神門郡塩冶郷は味耜高日子根神(阿遲須積高日子命)の御子の塩冶毘古命が居たとされ、同郡高岸郷は味耜高日子根神の御座所があったと伝わる。(出雲国風土記)
吉備以外	(出雲) 西谷墳墓群 3号墓 (*2)		
中期(向木目形) 	吉備	(備中) 西江墳丘墓 [哲多郡] (備前) 便木山遺跡 [赤坂郡] (*3)	(*3) [地祇系] 阿遲鉏高日子根神を祭神とする赤坂郡 片山神社の社記に「孝霊の御宇 若建吉備津彦命が征時に籠って(阿遲鉏高日子根神に) 祈り 鎮兵後に再び営んだ」とある。(赤坂町誌) (*4) [地祇系] 東郷遺跡同様に河内湖に面する地域には、味耜高日子根神やその妹神を祀る阿遲速雄神社や比売許曾神社(撰津 東成郡) がある。
吉備以外	(河内) 東郷遺跡 (*4)		
後期・晩期(宮山型・都月型) 	吉備	(備中) 宮山墳丘墓 [窪屋郡] (備前) 都月坂 1号墳 [御野郡] 浦間茶白山古墳 [赤磐郡]	(*5) [地祇系] 権現山古墳のある揖保郡の隣郡(神崎郡)は「神前郡多駝里新次社に同神が宮を造った」と伝わる。(播磨国風土記) (*6) [天神系] 元稲荷古墳のある乙訓郡には火雷神(可茂別雷命の父神)は乙訓郡の社(乙訓坐大雷神社に比定)に鎮座すると伝わる。(山城国風土記逸文)
吉備以外	(播磨) 権現山 51号墳 (*5) (山城) 元稲荷古墳 (*6) (大和) 箸墓古墳 西殿塚古墳		

図-2 特殊器台の分布と地祇系賀茂族の相関 (図は岡山県立博物館 特殊器台説明書より抜粋)